

議 事 録 （要 約 版）

【開催日】

令和8年8月7日（金） 14:00～16:00

【開催場所】

現地視察： 塩尻市片丘（松くい虫被害対策施業地）

意見交換： 塩尻市役所5階大会議室

【会議事項】

- 1 令和7・8年度森林税活用事業の実施状況について
- 2 長野県森林づくり指針、松本地域の目指すべき姿について
- 3 意見交換

【出席構成員】（50音順）

牛山 奈々 構成員	田下 高秋 構成員
西川 朋子 構成員（座長）	平島 安人 構成員
柳澤 由香利 構成員	山本 健太 構成員

構成員2名欠席
太田 美絵 構成員
渡辺 美沙樹 構成員

【事務局出席者】

斎藤松本地域振興局長、百瀬林務課長、池上企画幹兼普及係長、森山林務係長、岡田副参事兼課長補佐兼林産係長、磯尾課長補佐兼治山係長、青木主任森林経営専門技術員、青柳森林保護専門員、花岡主任

【現地視察】

- ◆ 松くい虫被害が松本地域南部から諏訪・木曽方面へ広がらないよう、緩衝帯のような形で森林整備を進めている。カミキリ虫の移動距離は概ね2km以内とされ、緩衝帯により被害抑制を図っている。
- ◆ 温暖化の影響により高標高地域にも被害が拡大し、現在では標高900～1,000m付近まで被害が確認されている。
- ◆ 伐採後はナラやクリなどの広葉樹への更新を期待しており、条件によっては人工造林と天然更新を使い分けている。
- ◆ 森林所有者が小規模なため、森林の集約化に困難を抱える地域がある。予算や人員不足も課題となっている。
- ◆ 松くい虫対策の伐採はカミキリ虫の活動時期を避ける必要があり、冬場の限られた期間で実施している。植栽や下刈りも季節的な制約を受けるため、人員確保が課題となっている。
- ◆ 作業道については、将来の森林整備に必要なものは維持し、一時的な搬出路は森林へ復元するなど、森林管理上の必要性に応じて判断している。



【意見交換】

会議事項 1： 令和 7・8 年度森林税活用事業の実施状況について

- ◆ 木造・木質化支援事業については、今年度から設計費も補助対象となり、県産材利用促進に向けた制度拡充が図られている。一方で、民間の中～大規模案件では事業期間が複数年度に及ぶことが多く、単年度予算による補助制度が利用しづらいとの課題が示された。
- ◆ 県産材利用促進のための補助事業等については、事業設計の段階から関係団体も協力ができれば、より良い施策になるのではという提案が示された。
- ◆ 松くい虫の被害拡大防止に重点を置いて施策を推進することは理解できるが、被害のピークを過ぎた地域では大量の枯損木が残され、森林所有者の負担や景観上の課題が残っており、このような地域への継続的な支援を求める意見が出された。
- ◆ 森林税の認知度向上のため、森林・木材関係者だけでなく幅広い県民に向けた普及啓発を続けていくことが重要との意見が出された。事務局からは、5月に実施した松本駅でのイベントの他、秋に松本空港や松本市立博物館において予定されているイベントについて説明があった。また、構成員から、森林税の普及啓発にあたっては、現在松本地域が抱える課題についても情報発信することが提案された。

会議事項 2： 長野県森林づくり指針・松本地域の目指すべき姿について

- ◆ 松本地域の森林・林業の現状と将来像について説明が行われ、森林税だけでなく国庫補助事業等も含めて総合的に施策を進める方針が示された。
- ◆ 森林税については、単に事業内容だけでなく、「税がある場合・ない場合で何ができるのか・できないのか」というように、効果を分かりやすく発信してはどうかとの提案があった。
- ◆ 現在の第 4 期森林税は令和 9 年度までの計画であり、第 5 期に向けた検討の材料として、各地域で地域特性の整理を進めていることが説明された。
- ◆ 松本地域では、主要樹種であるカラマツ・アカマツの流通拡大が課題となっている。アカマツについては、県が全国的な流通調査を進めるとともに、市村や民間企業も含め、木目や色合いなどの特徴を生かした付加価値向上に取り組んでいる。
- ◆ 構成員から、地域の課題として伝えるために、松くい虫被害によりブルーステインや虫穴が入ったアカマツ材を木製品や看板等として活用し、その特性を逆に魅力として発信する取組が紹介された。

会議事項 3： その他意見交換

- ◆ 森林税を活用して整備された施設や建築物において、見学会やイベント開催時に森林税や県産材利用についての積極的な PR が必要との意見が出された。またその際は、施設管理者や事業者からの発信も重要であるため、協力を依頼するべきとの認識が共有された。
- ◆ 松本地域の森林・林業の目指すべき姿の検討を進める中で、随時構成員と情報共有を図り、指針等に反映していくとの方向性が示された。
- ◆ 次回会議は令和 9 年 2～3 月頃の開催を予定しており、全県での地域特性の整理結果や、森林・林業施策への反映について報告することとした。

(Copilot による要約を元に作成)

